

2. 調査結果のまとめ

2.1. 断面図等の作成

今回実施した調査結果（他工区データ含む）をとりまとめ、総合解析断面図等を作成する。取りまとめに際しては、全工区の調査結果等を利用する。なお本項目では、調査結果のうち、地形・地質に関する事項についてまとめる。使用する調査結果とまとめる項目を以下に示す。

調査種目	アウトプット
(1) 地形地質踏査	・ 総合解析平面・断面図 ⇒ ・ 地表水・地下水状況のまとめ ・ その他の事項
(2) 電気探査	
(3) ボーリング調査	
(4) バックホウ掘削	
(5) その他 現地測定等	
(6) 既存、文献等(旧地形図等)	

なお、作成した総合解析断面図等は、廃棄物量推定や調査地における問題点の抽出における基礎資料とする。

(1) 調査位置および数量

解析に使用した調査結果の詳細は、各工区の報告書にその詳細を示す。図 2.1 に調査位置を示す。各調査の実施状況は各報告に示す。表 2.1～表 2.2 に電気探査とボーリング調査の実施数量を示す。

表 2.1 数量表（電気探査）

測線番号	電極間隔	展開数	電極数	測線長
	[m]			[m]
e-1	5.0	20	73	360
e-2	5.0	20	79	390
e-3	5.0	20	81	400
e-4	5.0	20	80	395
e-5	5.0	20	82	405
e-6	5.0	20	79	390
e-7	5.0	20	79	390
e-8	5.0	20	73	360
e-9	5.0	12	37	180
e-10	5.0	9	29	140
e-11	5.0	17	53	260
e-12	5.0	20	79	390
e-13	5.0	20	67	330
e-14	5.0	20	67	330
e-15	5.0	12	37	180
e-16	5.0	20	61	300
e-17	5.0	20	61	300
e-18	5.0	20	61	300
e-19	5.0	20	61	300
e-20	5.0	18	55	270
e-21	5.0	16	49	240
e-22	5.0	12	37	180
合計				6790

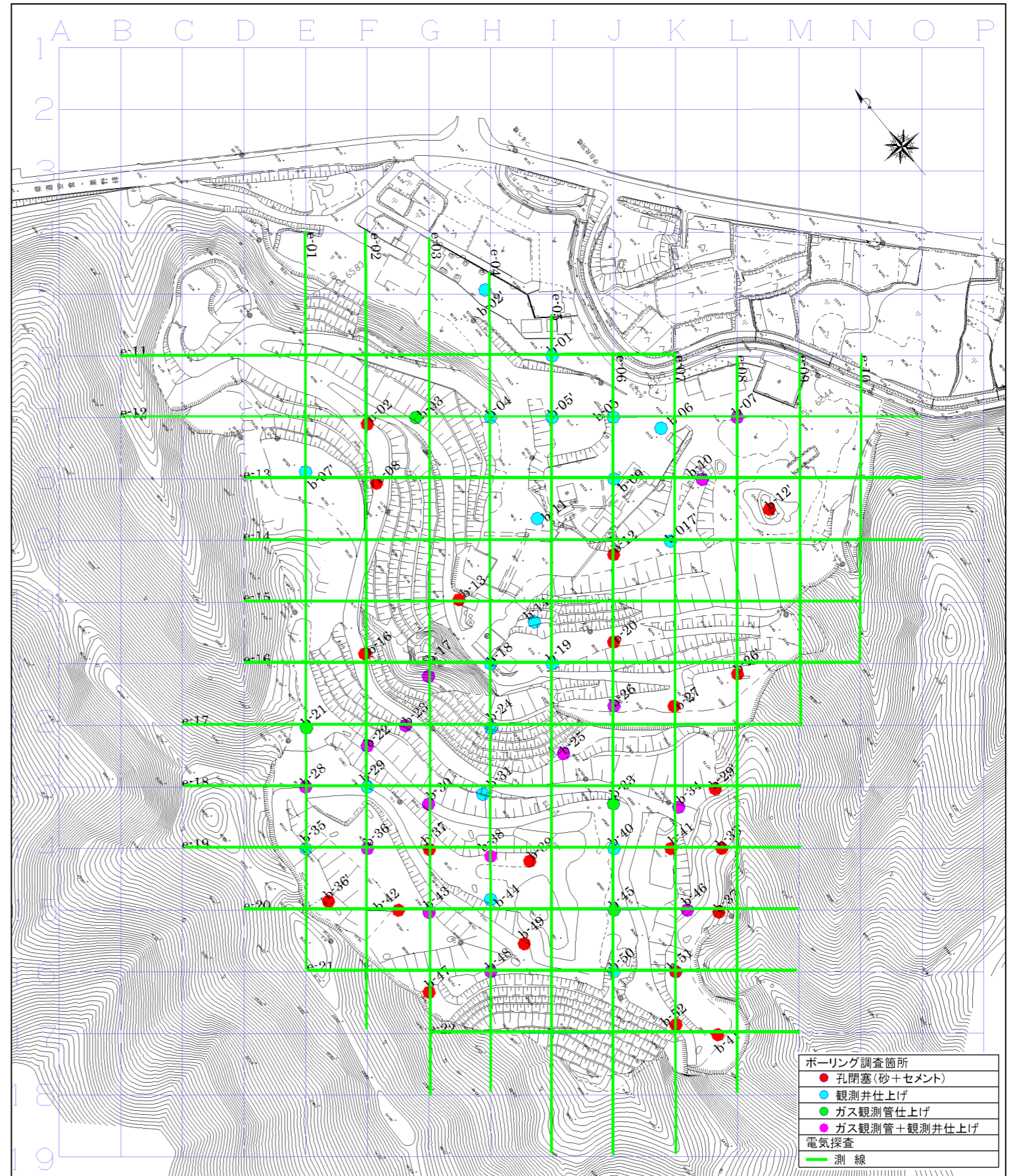


図 2.1 調査位置図

表 2.2 調査数量表 (ボーリング)

ボーリング No.	工区	実施者	ボーリング区分		ボーリング孔 仕上げタイプ	ルジオンテスト		ボーリング深度 (m)			
			廃棄物把握	有害物質把握		実施予定	実施	廃棄物深度	掘削深度	φ 86	φ 66
b-01	1	大日	○		II	○	◎	6.50	15.00	10.00	5.00
b-02	1	大日	○		I			11.60	17.00	17.00	0.00
b-02'	1	大日	○		II			9.00	15.00	15.00	0.00
b-03	1	大日	○		III			14.20	22.00	22.00	0.00
b-04	1	大日	○		II			4.70	12.00	12.00	0.00
b-05	1	大日	○		II			5.75	17.00	17.00	0.00
b-05'	1	大日	○		II		◎	9.55	18.00	16.00	2.00
b-06	1	大日	○		II			8.80	17.00	17.00	0.00
b-07	1	大日	○		IV	○	◎	5.60	22.00	14.00	8.00
b-07'	1	大日	○		II			18.55	27.00	27.00	0.00
b-08	1	大日	○		I			11.70	17.00	17.00	0.00
b-09	1	大日	○		II	○	◎	2.90	13.00	10.00	3.00
b-10	1	大日	○		IV			14.60	20.00	20.00	0.00
b-11	1	大日	○		II	○	◎	7.20	17.00	13.00	2.00
b-12	1	大日	○		I	○	×	5.20	14.00	11.00	3.00
b-12'	1	大日	○		I			5.00	10.00	10.00	0.00
b-13	1	大日	○		I			3.00	9.00	9.00	0.00
b-14	1	大日	○		II			21.85	30.00	30.00	0.00
b-15	1				-	-	-	-	-	-	-
b-16	1	大日	○		I			3.20	10.00	10.00	0.00
b-17	1	大日		○	IV			18.95	28.00	28.00	0.00
b-17'	1	大日	○		II			7.90	14.00	14.00	0.00
b-18	1	大日	○		II			12.60	20.00	20.00	0.00
b-19	1	大日		○	II			23.70	30.00	30.00	0.00
b-20	1	大日	○		I			5.50	12.00	12.00	0.00
b-21	1	大日	○		III			9.85	16.00	16.00	0.00
b-22	1	大日		○	IV			21.65	31.00	31.00	0.00
b-23	1	大日	○		IV			40.70	46.00	46.00	0.00
b-24	1	大日		○	II			32.10	40.00	40.00	0.00
b-25	1	大日	○		IV			37.90	44.00	44.00	0.00
b-26	1	大日		○	IV			21.20	27.00	27.00	0.00
b-26'	1	大日	○		I			14.60	21.00	21.00	0.00
b-27	1	大日	○		I			8.90	16.00	16.00	0.00
b-28	2	大同		○	IV			8.70	20.00	20.00	0.00
b-29	2	大同	○		II			30.50	36.00	36.00	0.00
b-29'	3	大日	○		I			10.20	16.00	16.00	0.00
b-30	2	大同		○	IV			31.80	40.00	40.00	0.00
b-31	1	大日	○		II			36.00	46.00	46.00	0.00
b-32	3				-	-	-	-	-	-	-
b-33	3	大日	○		III			36.70	42.00	42.00	0.00
b-33'	3	大日	○		I			9.25	15.00	15.00	0.00
b-34	3	朝日		○	IV			20.70	28.00	28.00	0.00
b-35	2	大同	○		II			14.60	20.00	20.00	0.00
b-36	2	大同		○	IV			21.70	27.00	27.00	0.00
b-36'	2	大同	○		I			5.75	10.00	0.00	10.00
b-37	2	大同	○		I			23.00	30.00	30.00	0.00
b-37'	3	大同	○		I			5.20	10.00	0.00	10.00
b-38	2	大同		○	IV			36.10	51.00	51.00	0.00
b-39	3	朝日	○		I			53.00	60.00	60.00	0.00
b-40	3	朝日		○	II			39.70	45.00	45.00	0.00
b-41	3	朝日	○		I			18.50	25.00	25.00	0.00
b-41'	3	大同	○		I			3.40	7.00	0.00	7.00
b-42	2	大同	○		I			11.60	17.00	17.00	0.00
b-43	2	大同		○	IV			28.00	35.00	35.00	0.00
b-44	2	大同	○		II			32.50	42.00	42.00	0.00
b-45	3	大日	○		III			30.70	40.00	40.00	0.00
b-46	3	朝日	○		IV			6.00	11.00	11.00	0.00
b-47	2	大同	○		I			7.55	13.00	13.00	0.00
b-48	2	大同		○	IV			28.30	34.00	34.00	0.00
b-49	3	朝日	○		I			40.00	45.00	45.00	0.00
b-50	3	大同		○	II			20.00	26.00	26.00	0.00
b-51	3	朝日	○		I			14.90	20.00	20.00	0.00
b-52	3	朝日	○		I			12.10	17.00	17.00	0.00
			47	14					1,495.00	1,443.00	50.00

(2) 断面図の作成方法

岩盤線の推定は、以下のデータを検討して決定した。岩盤線を推定する上で、各データは適用上の得失があるため、調査種目の精度や適用限界を踏まえ、各データの優先度をつけ判断した。

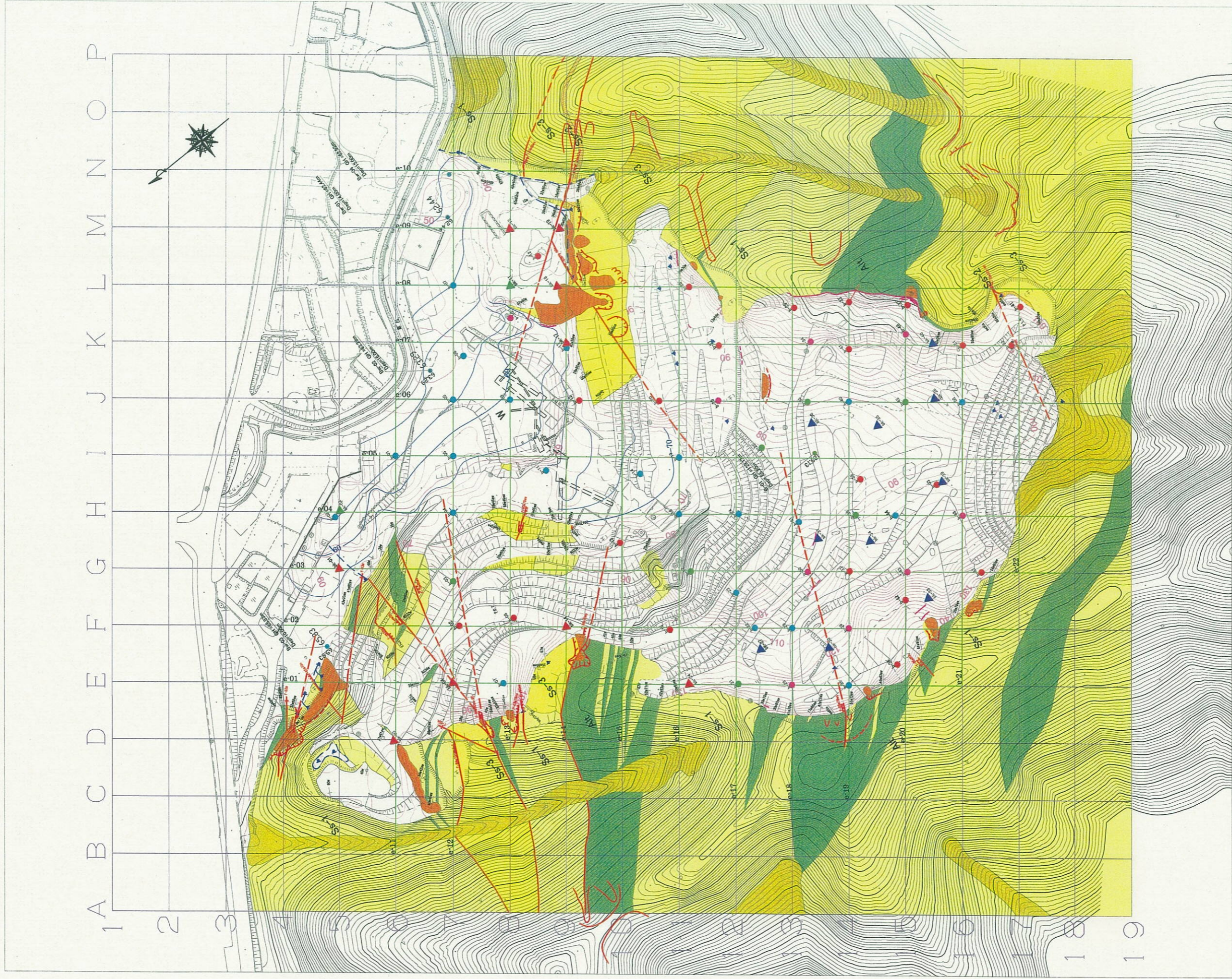
- ①現地踏査結果（優先度：B）
- ②電気探査結果（優先度：B・C）
- ③ボーリング結果 [その 2、3 工区分含む]（優先度：A）
- ④バックホウ掘削結果（優先度：A）
- ⑤過去の地形図 [岐阜市都市計画図 昭和 50 年]（優先度：B）
- ⑥空中写真 [昭和 62 年～平成 16 年]（優先度：C）

廃棄物層は、ボーリング結果等に基づいて、表 2.3 に示すとおり区分した。

図 2.2 に基盤岩の等高線を表記した平面図を図 2.3～図 2.25 に総合解析断面図を示す。

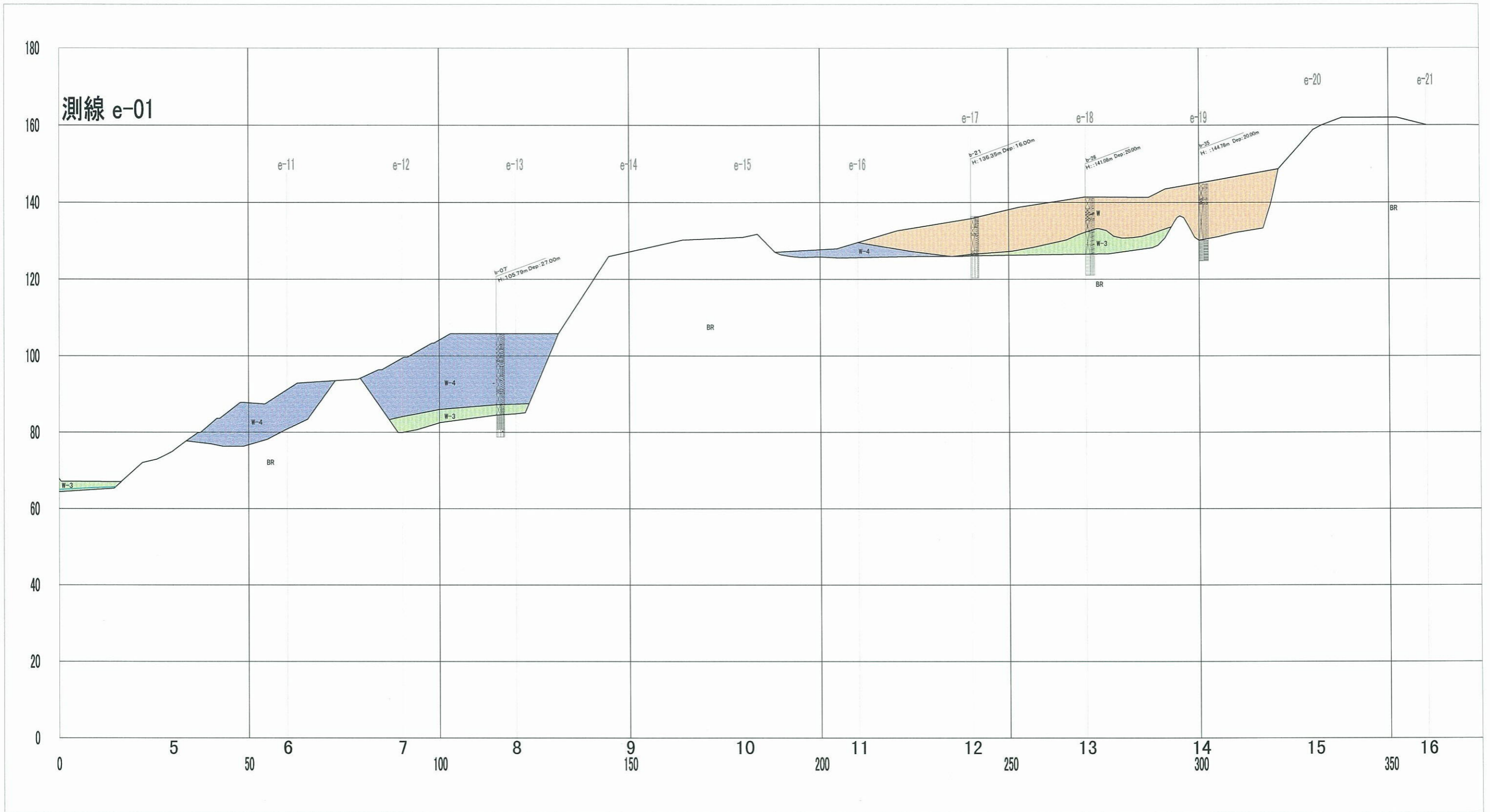
表 2.3 層序表

地質時代			地層名		記号		色調	土質・地質	状態	備考		
					平面図	断面図						
新生代	第四紀	完新世	人工物	混合物層	W	W	黒灰が主色、茶白青赤等	—	木屑、陶磁片、コンクリ、鉄筋、石膏ボード等	ボーリングコアより区分した。詳細は組成分析結果を参照		
				木屑主体層			W -1		黒灰が主色、茶灰等混じる		木屑が優勢する	
				コンクリートガラ主体層			W -2		灰色が主色		コンクリートガラ	コンクリートガラが優勢する
				土砂主体層			W -3		黒灰～黄茶、青緑等		砂礫状	木屑、陶磁片、コンクリ、鉄筋、石膏ボード等
				コンクリートガラ・土砂主体層			W -4		黄茶、黄褐、灰色		礫及びコンクリガラ	土砂およびコンクリートガラ
中生代	白亜紀 ジュラ紀	美濃帯 上麻生コンプレックス	砂岩泥岩互層	BR	Alt	黒灰・灰の互層状	土砂-軟岩	細粒砂岩と泥岩の互層	全体的に軟質、層理面と節理面が発達し、シルト岩や泥岩の薄層を挟む、砂岩ブロック含有もある。			
			細粒砂岩			Ss -1		灰、黄茶灰	土砂-軟岩	層状または塊状、細粒の挟み有り、乱れている	全体的に軟質、層理面が発達している。	
			砂岩			Ss -2		暗灰	硬岩	層理や節理有り、部分的に荷重痕、他の砂岩より硬質、頁岩を挟む箇所もある	非常に硬質、層理や節理面が発達し酸化しているが密着している。	
			塊状砂岩			Ss -3		黄茶灰	土砂-軟岩-中硬岩	塊状、部分的に荷重痕有り	全体的に軟質、節理面が発達、泥岩ブロックを含む箇所もある。	
			断層岩			F		黒灰	礫状-粘土状	断層角礫-断層ガウジ状	破碎帯に分布、場所によっては断層ガウジに黄鉄鉱が多量に含まれる。	



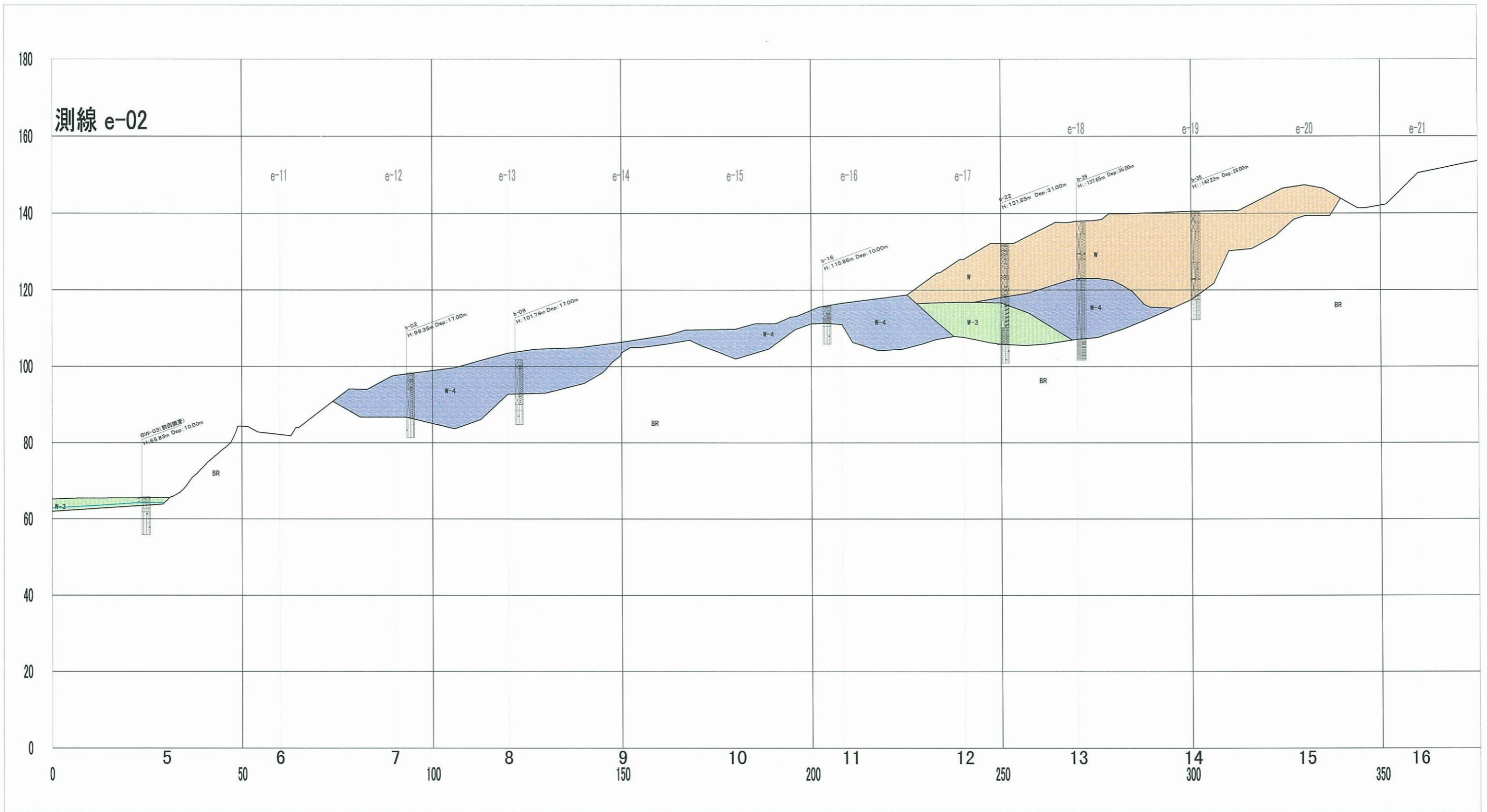
凡例	
—	電気探査測線
●	ボーリング
●	孔閉塞
●	地下水観測井
●	ガス観測井
●	地下水・ガス観測井
▲	バックホウ掘削
▲	岩盤確認
▲	試料分析およびガス調査

図2.2 総合解析平面図 S:1/2000



層区分	地質記号	ボリューム (×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
	基礎岩層	BR
推定地下水位線		

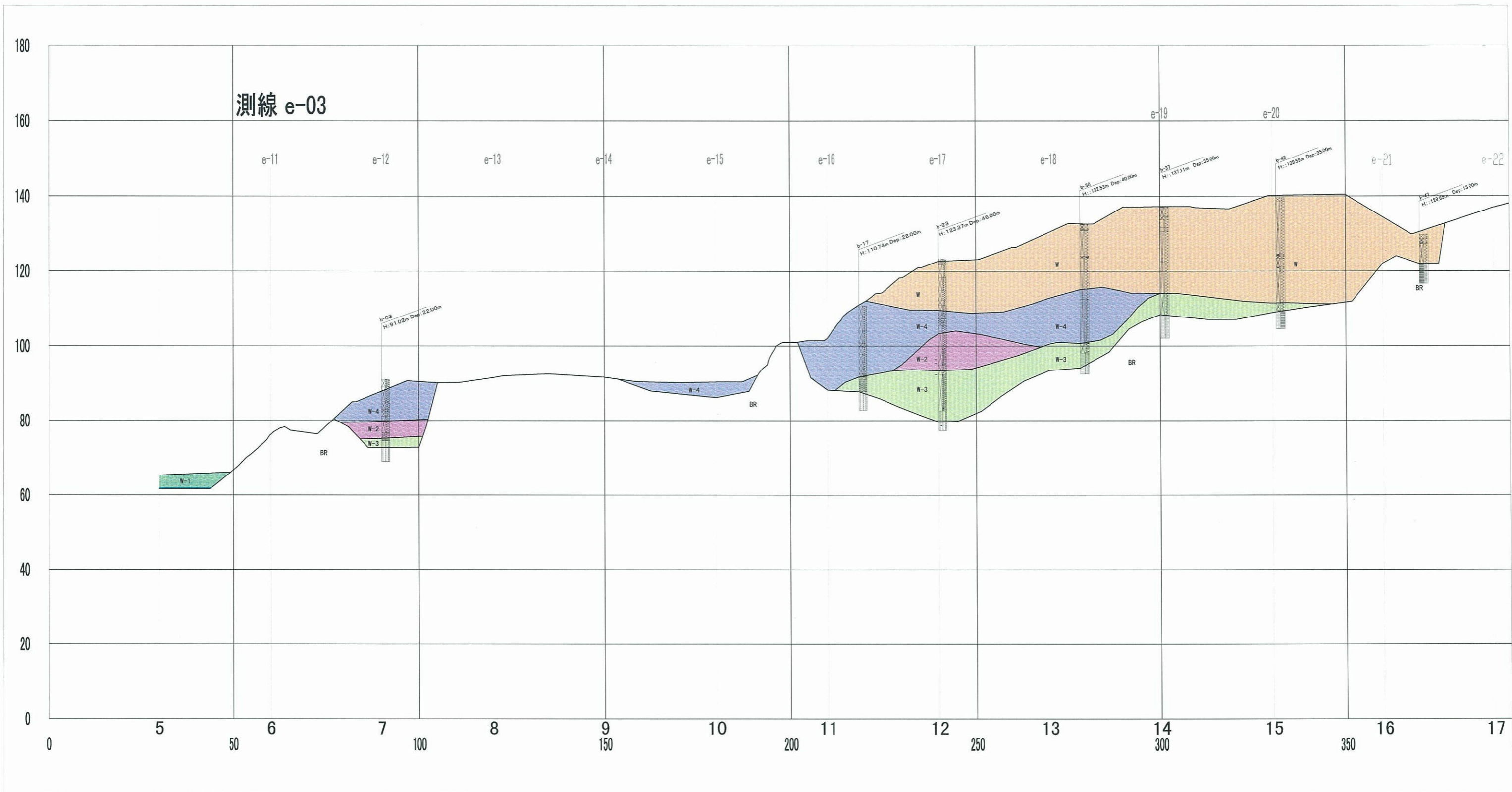
図2.3 総合解析断面図 (e-01) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

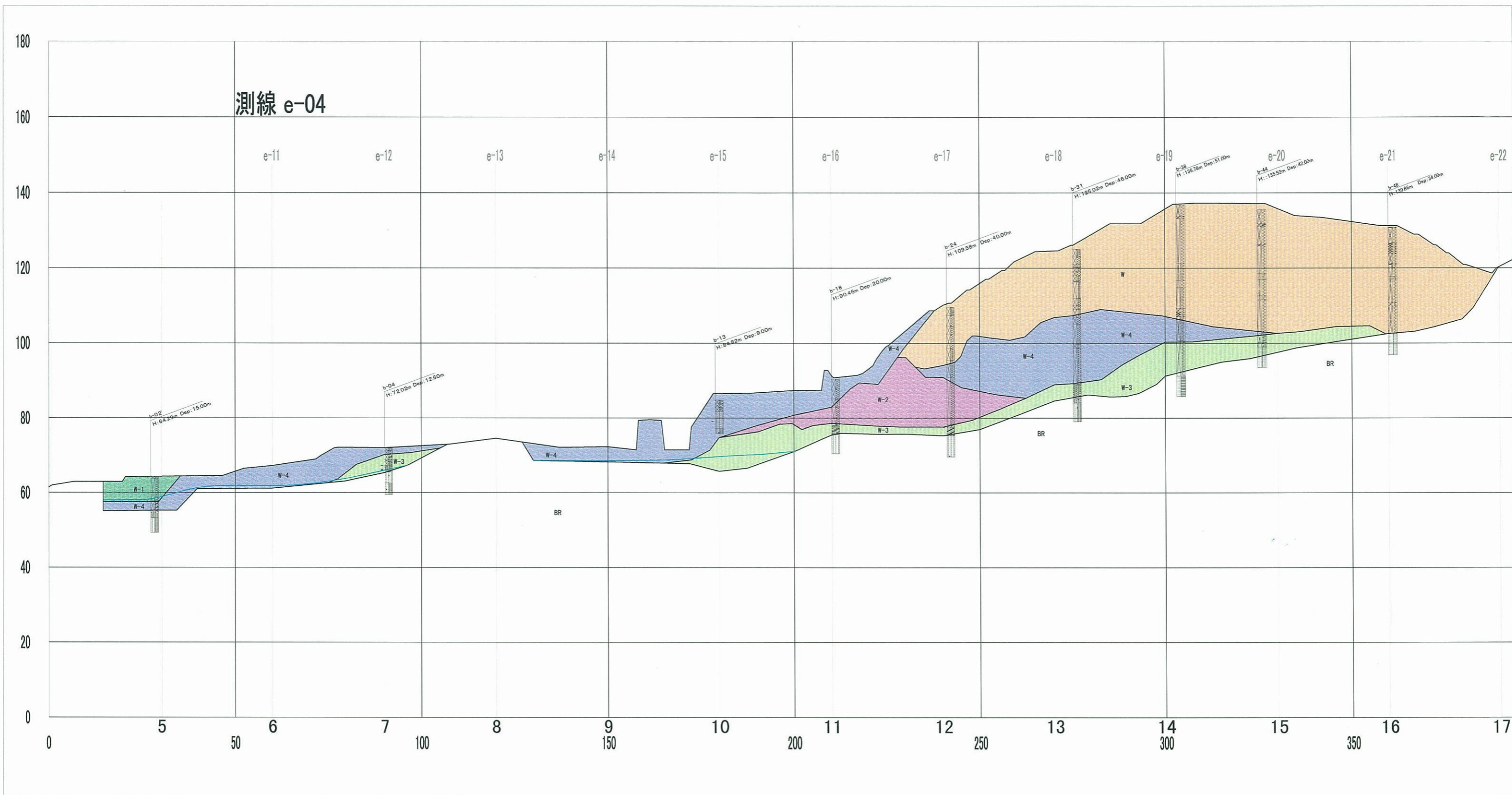
図2.4 総合解析断面図 (e-02) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

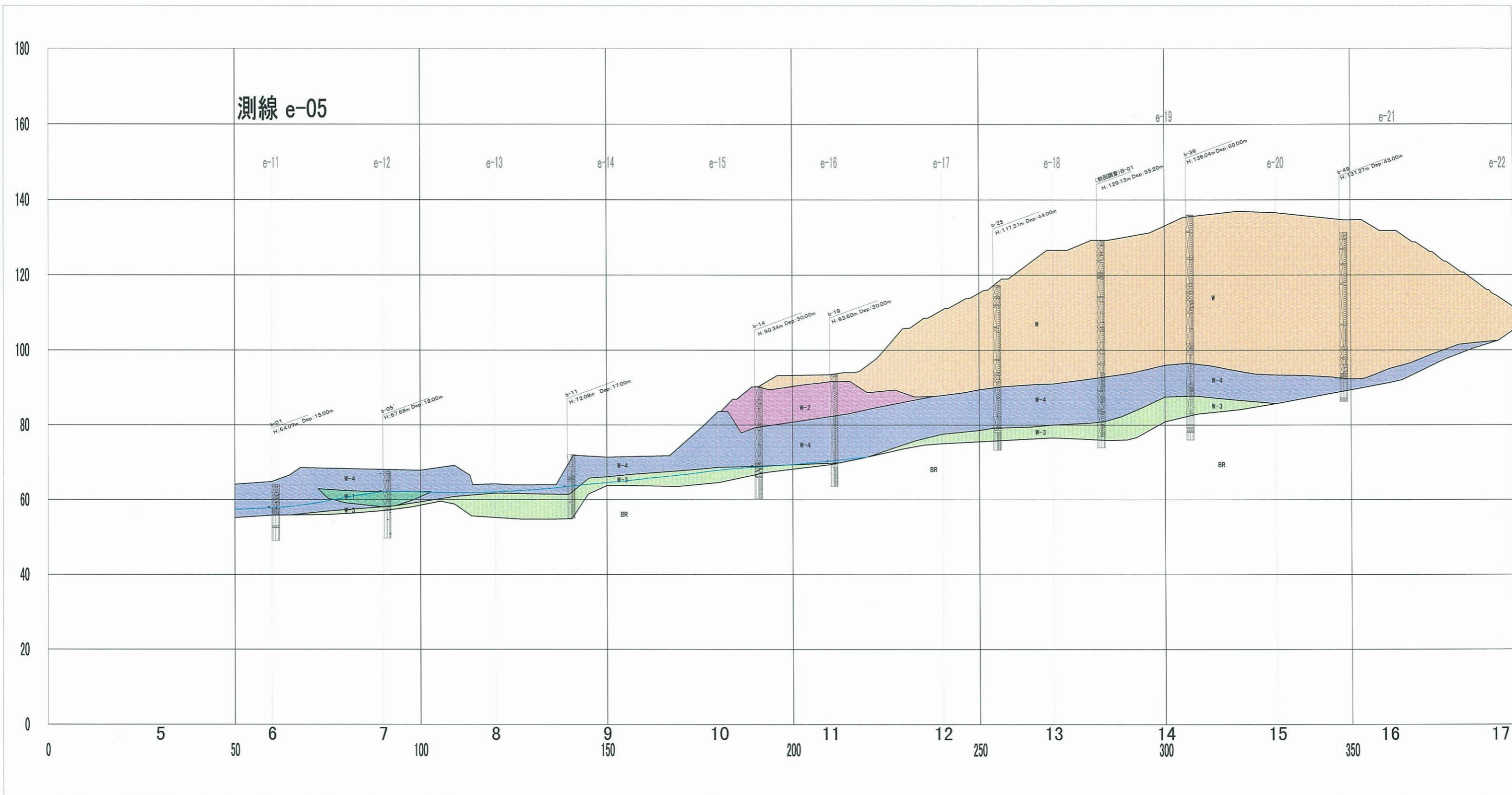
図2.5 総合解析断面図 (e-03) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
	基盤岩層	BR
— 推定地下水位線		

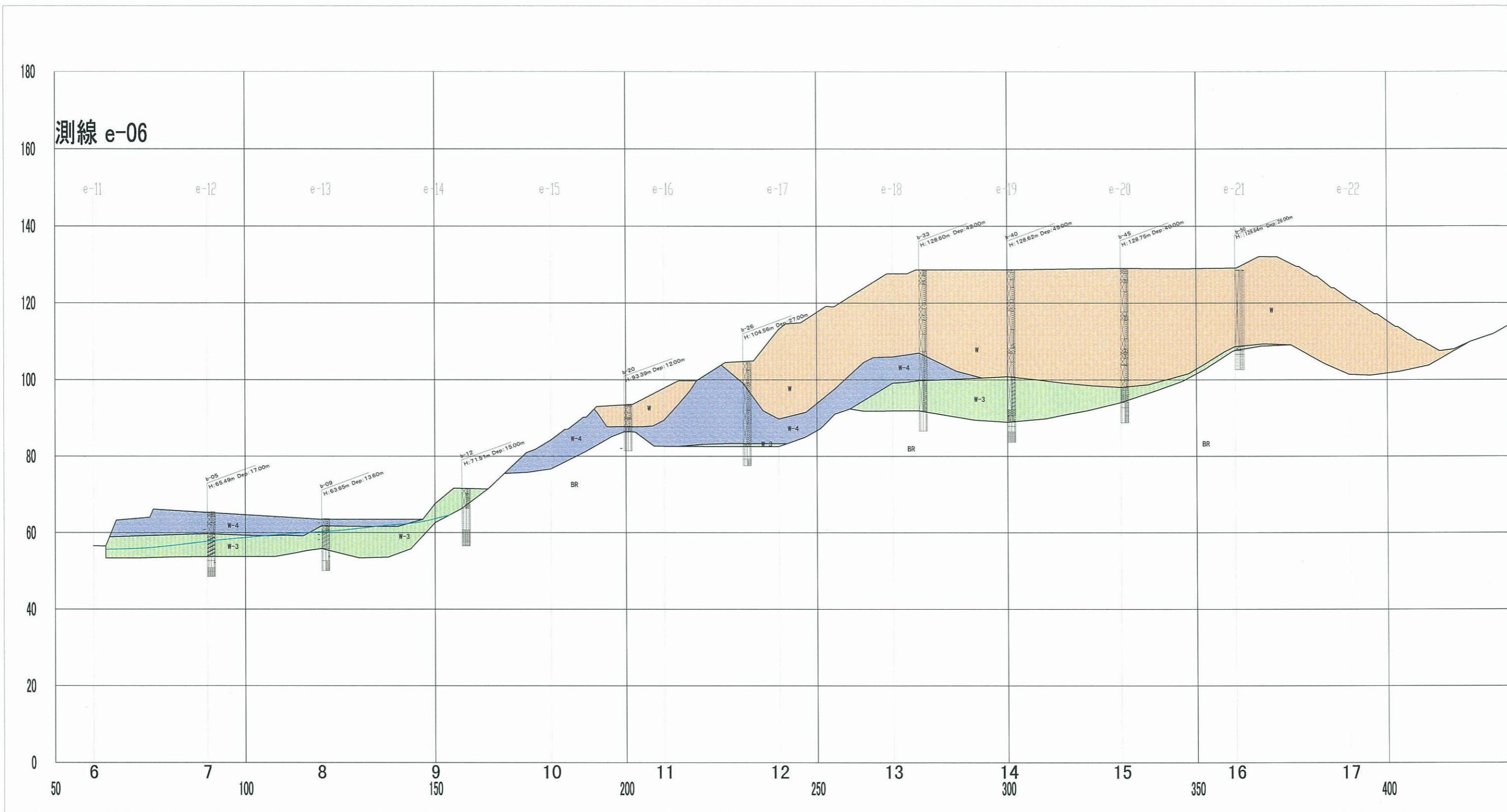
図2.6 総合解析断面図 (e-04) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
推定地下水位線		

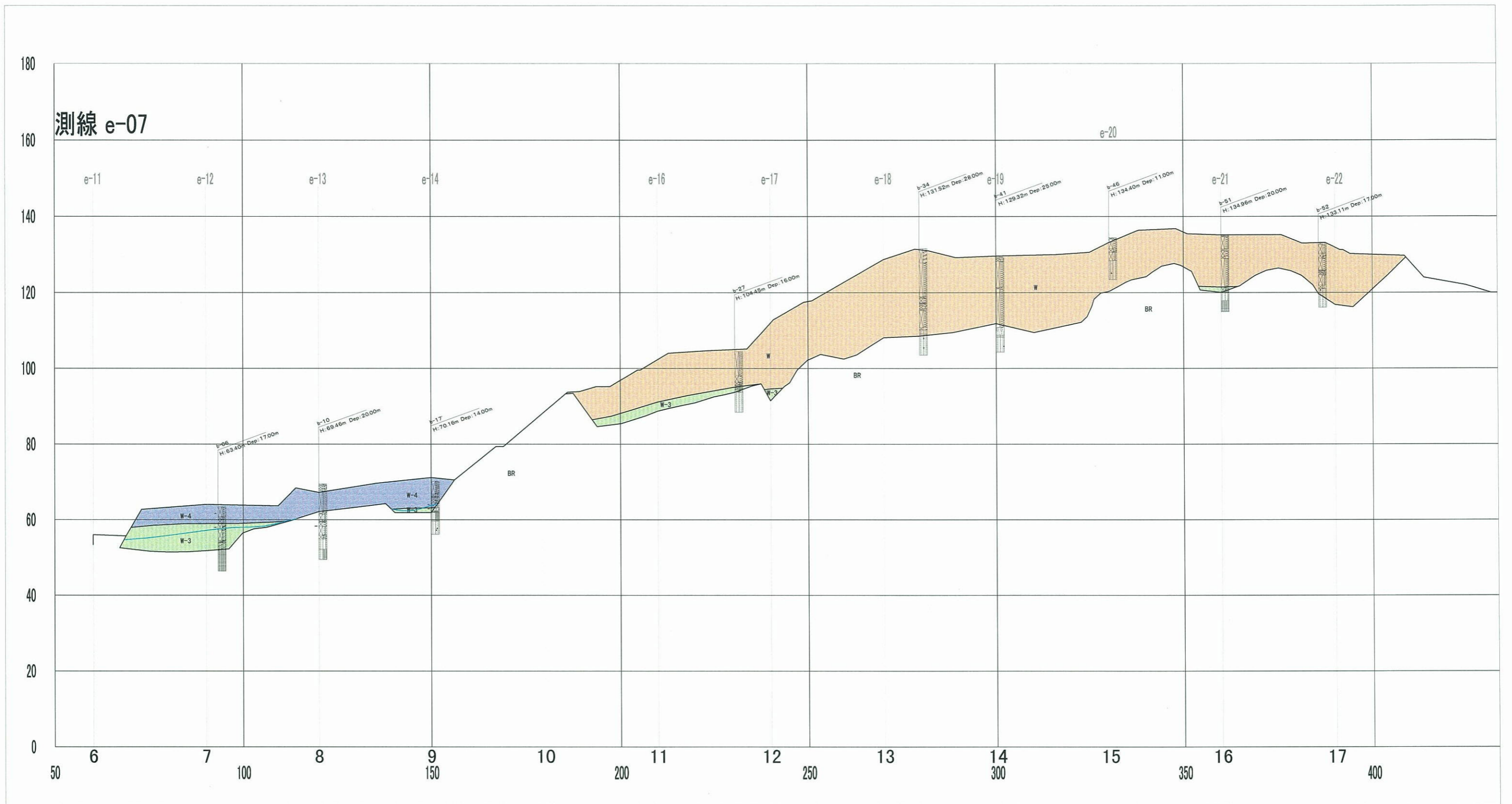
図2.7 総合解析断面図 (e-05) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
推定地下水位線		

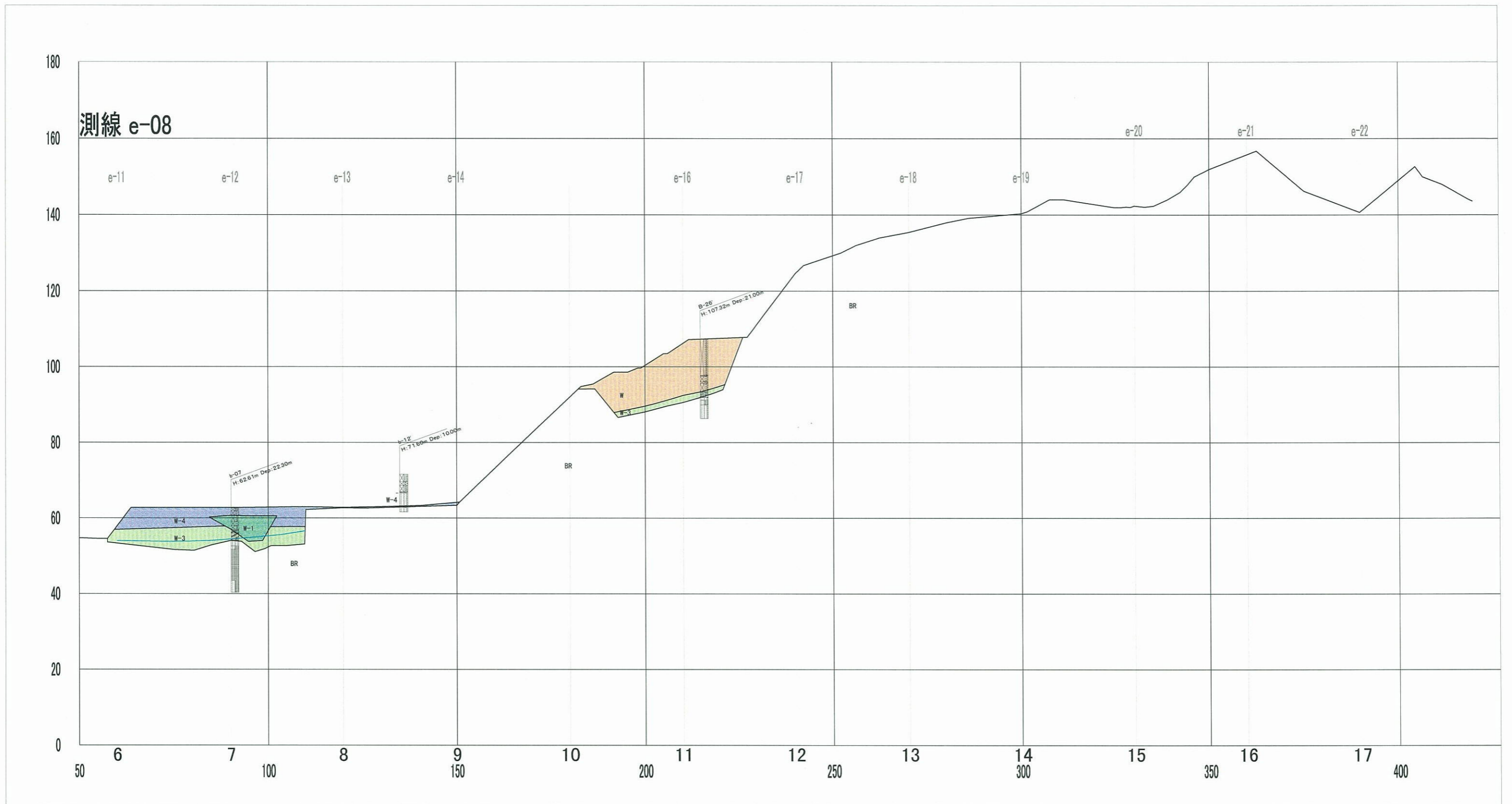
図2.8 総合解析断面図 (e-06) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)	
廃棄物層	混合物層	W	69.5
	木屑主体層	W-1	1.2
	コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
	土砂主体層	W-3	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計	124.8
— 推定地下水位線			

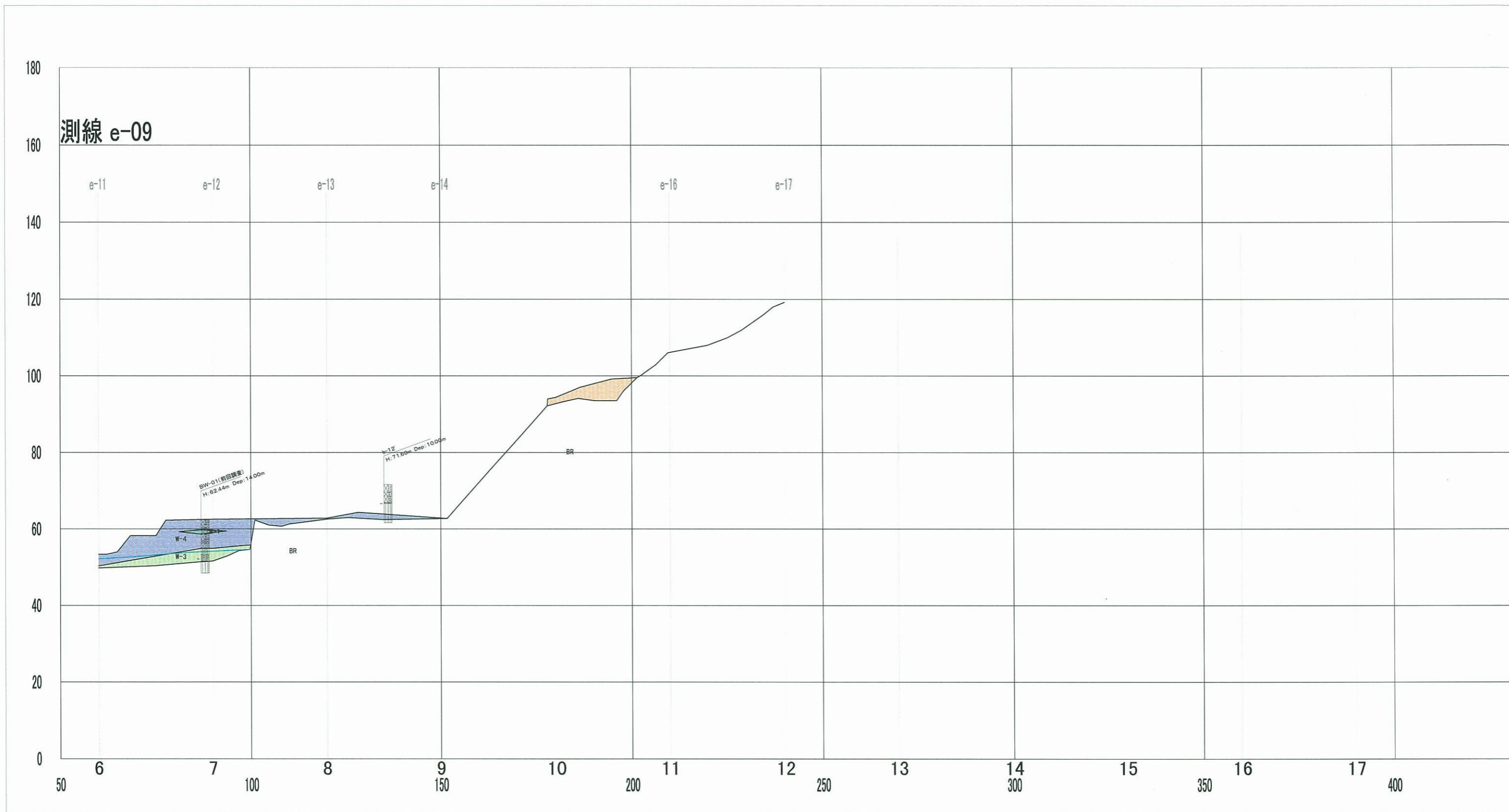
図2.9 総合解析断面図 (e-07) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

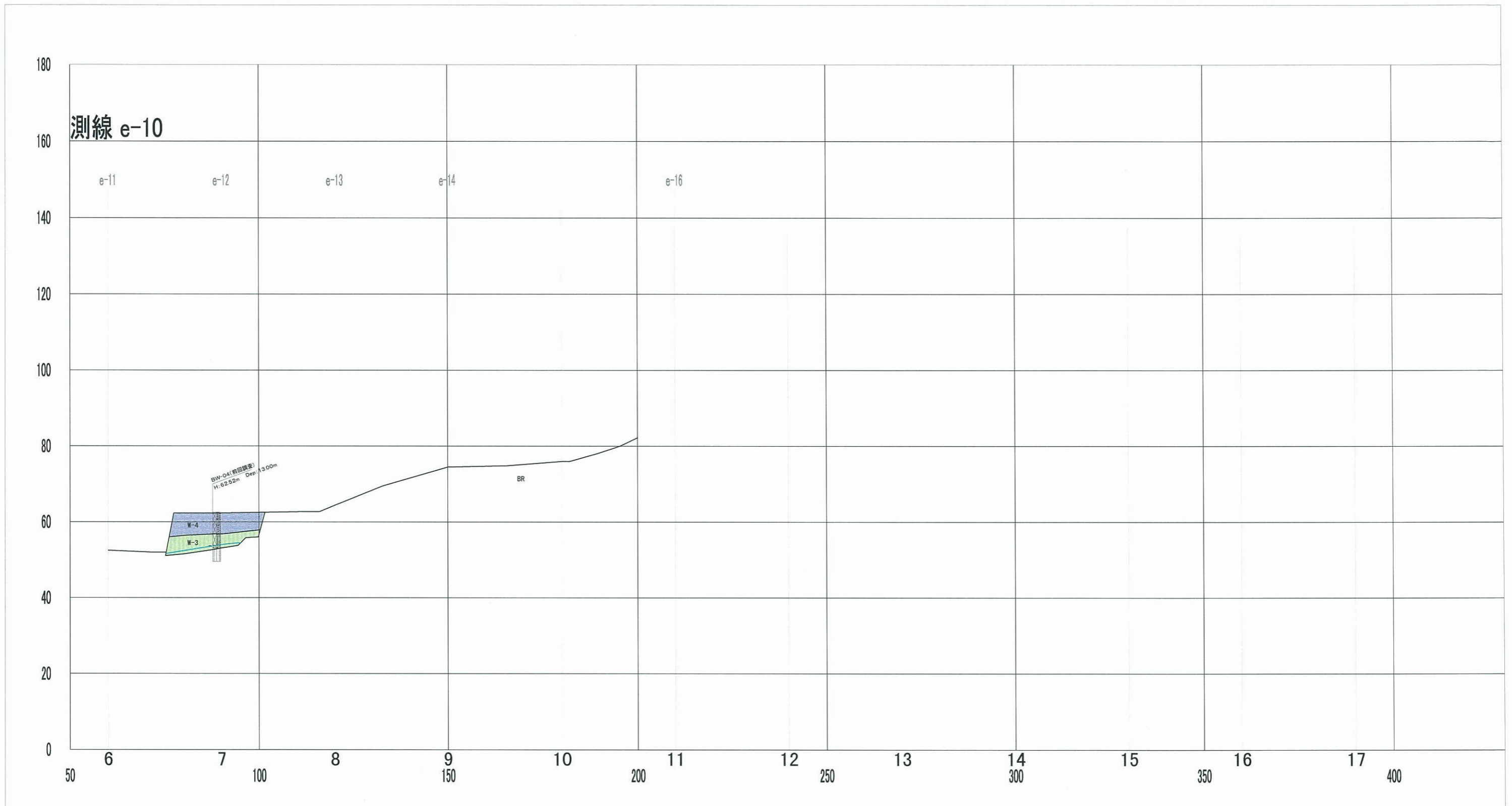
図2.10 総合解析断面図 (e-08) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

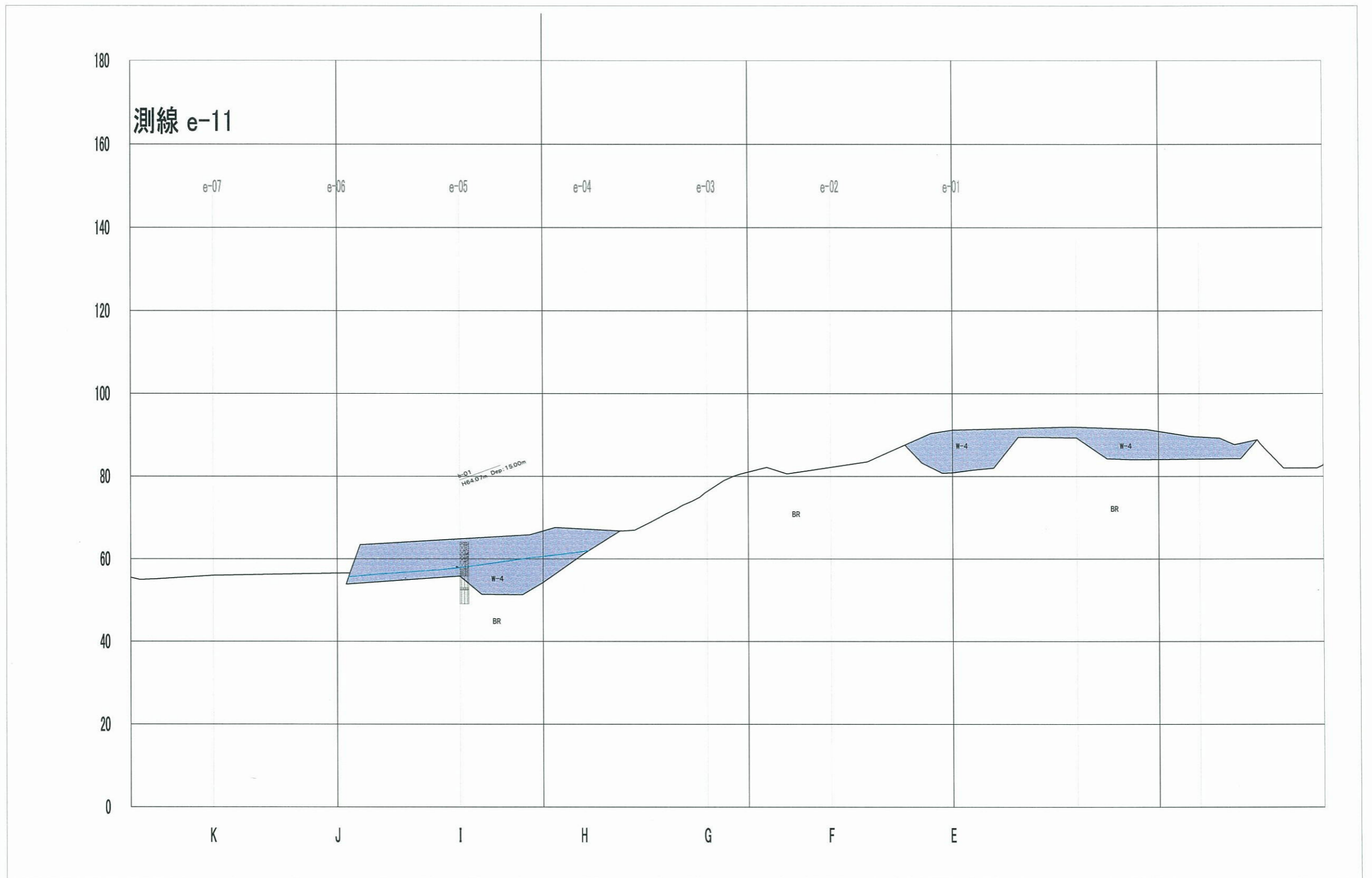
図2.11 総合解析断面図 (e-09) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
	基礎岩層	BR
— 推定地下水位線		

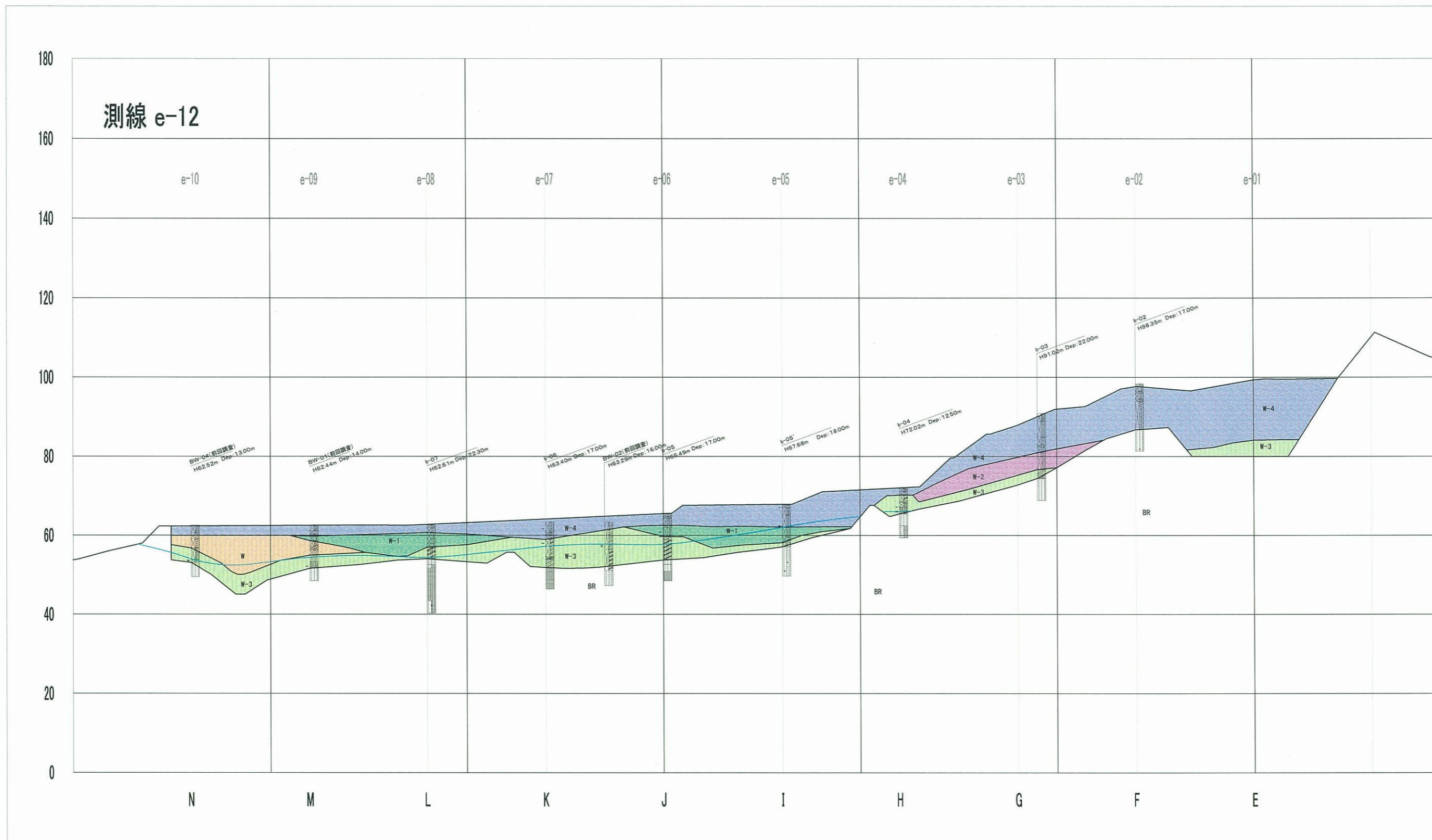
図2.12 総合解析断面図 (e-10) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

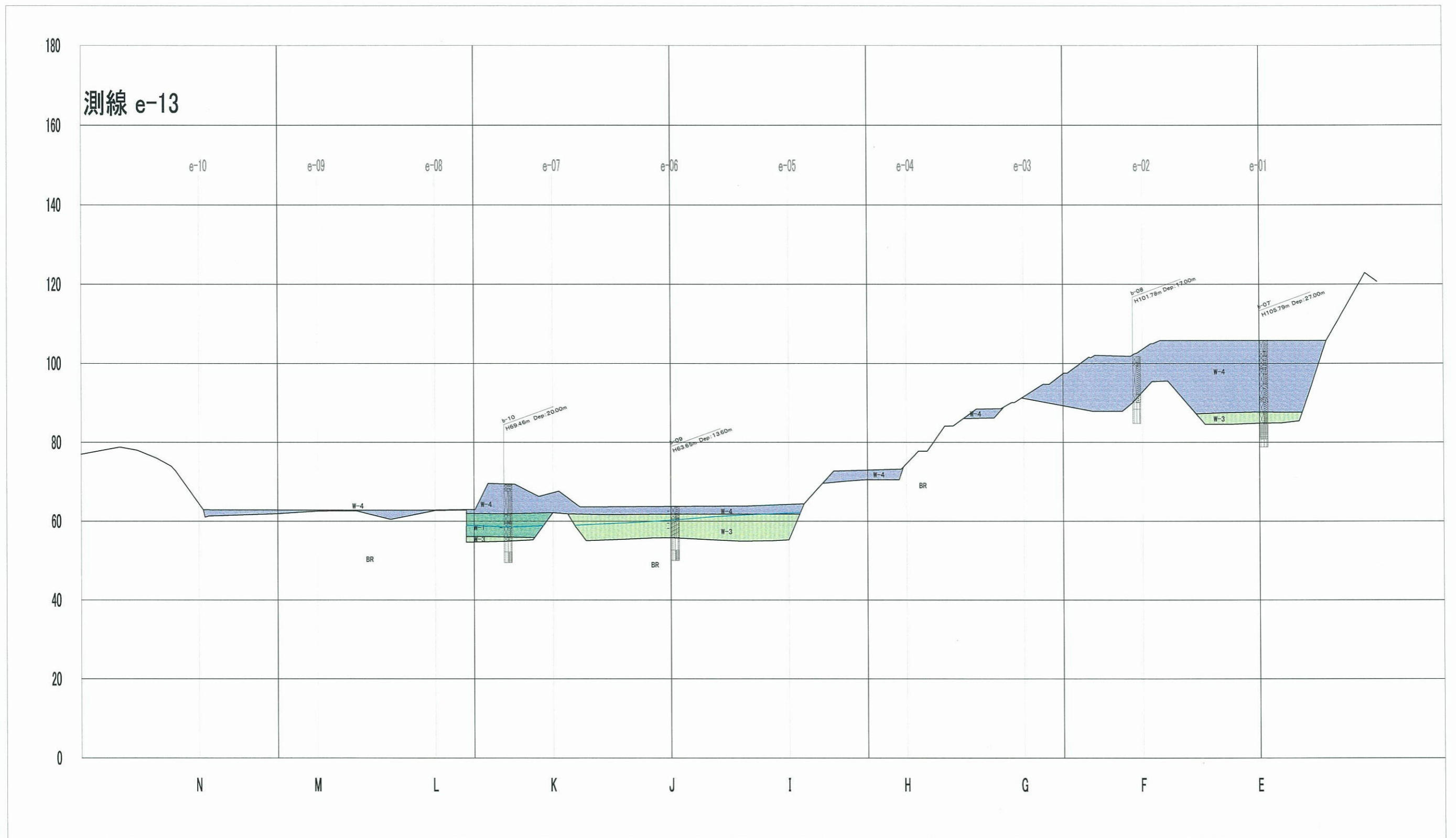
図2.13 総合解析断面図 (e-11) S:1/1000



断面図凡例

層区分		地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
廃棄物層	混合物層	W	69.5
	木屑主体層	W-1	1.2
	コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
	土砂主体層	W-3	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層		BR	計 124.8
— 推定地下水位線			

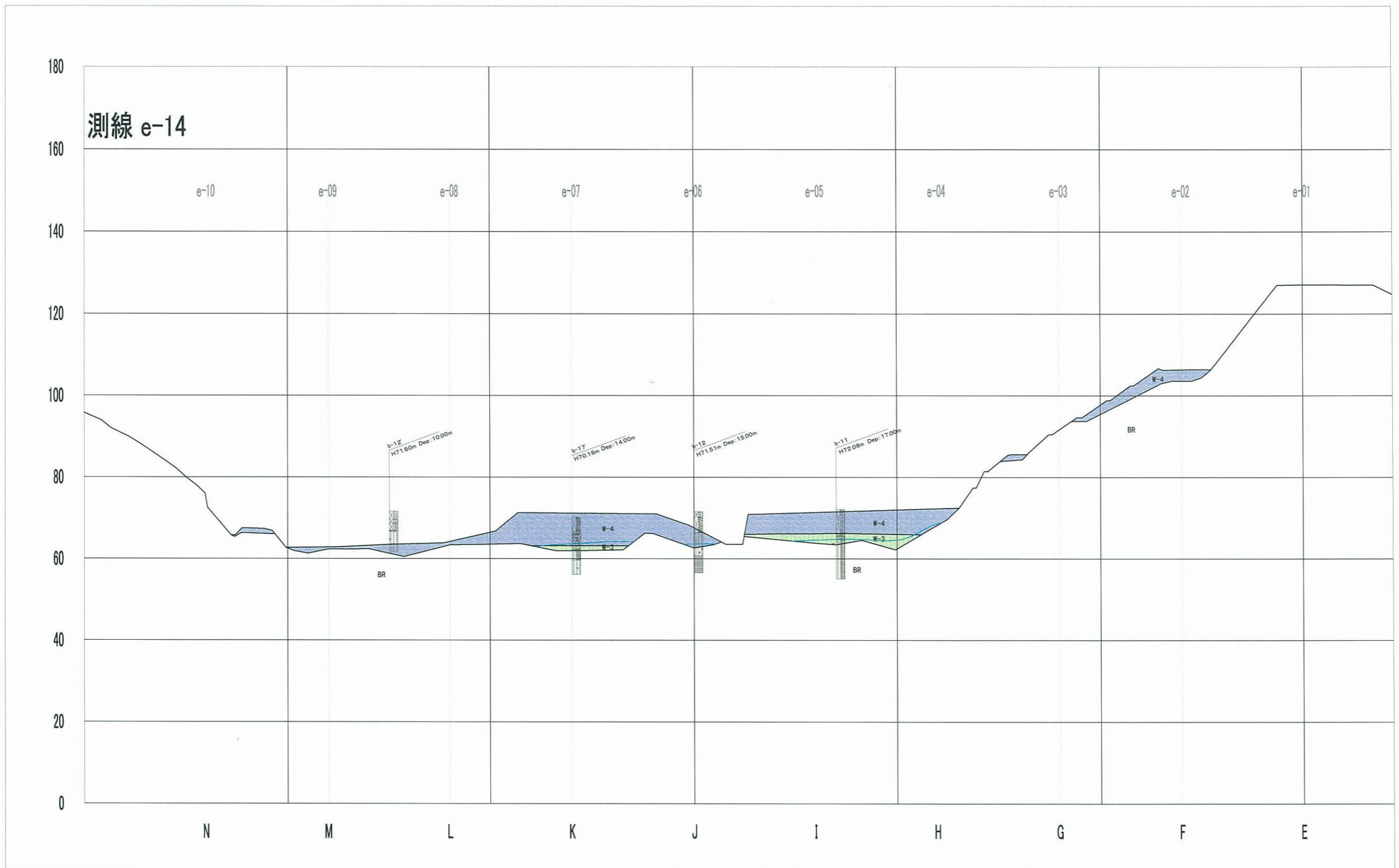
図2.14 総合解析断面図 (e-12) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
	基礎岩層	BR
推定地下水位線		

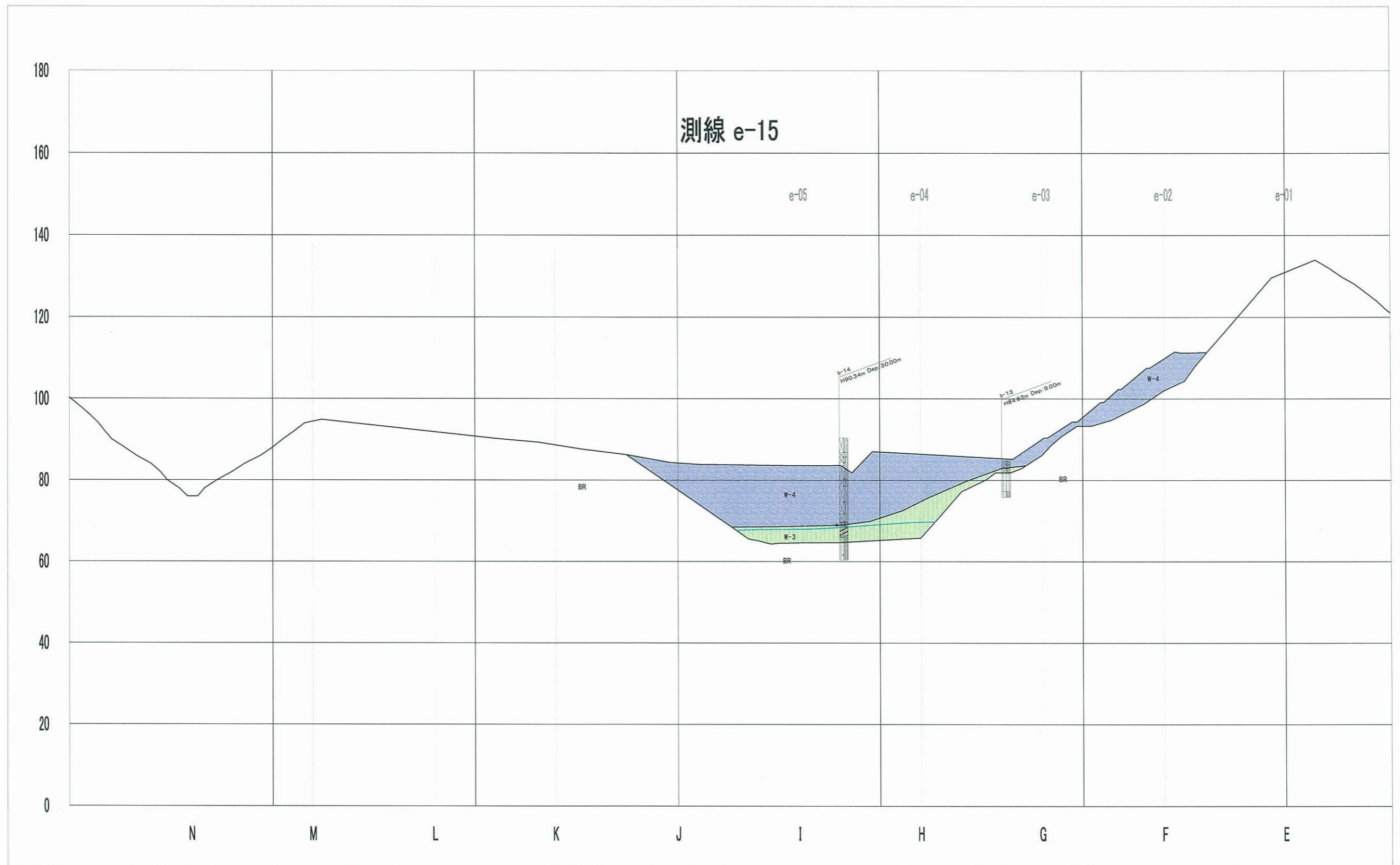
図2.15 総合解析断面図 (e-13) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

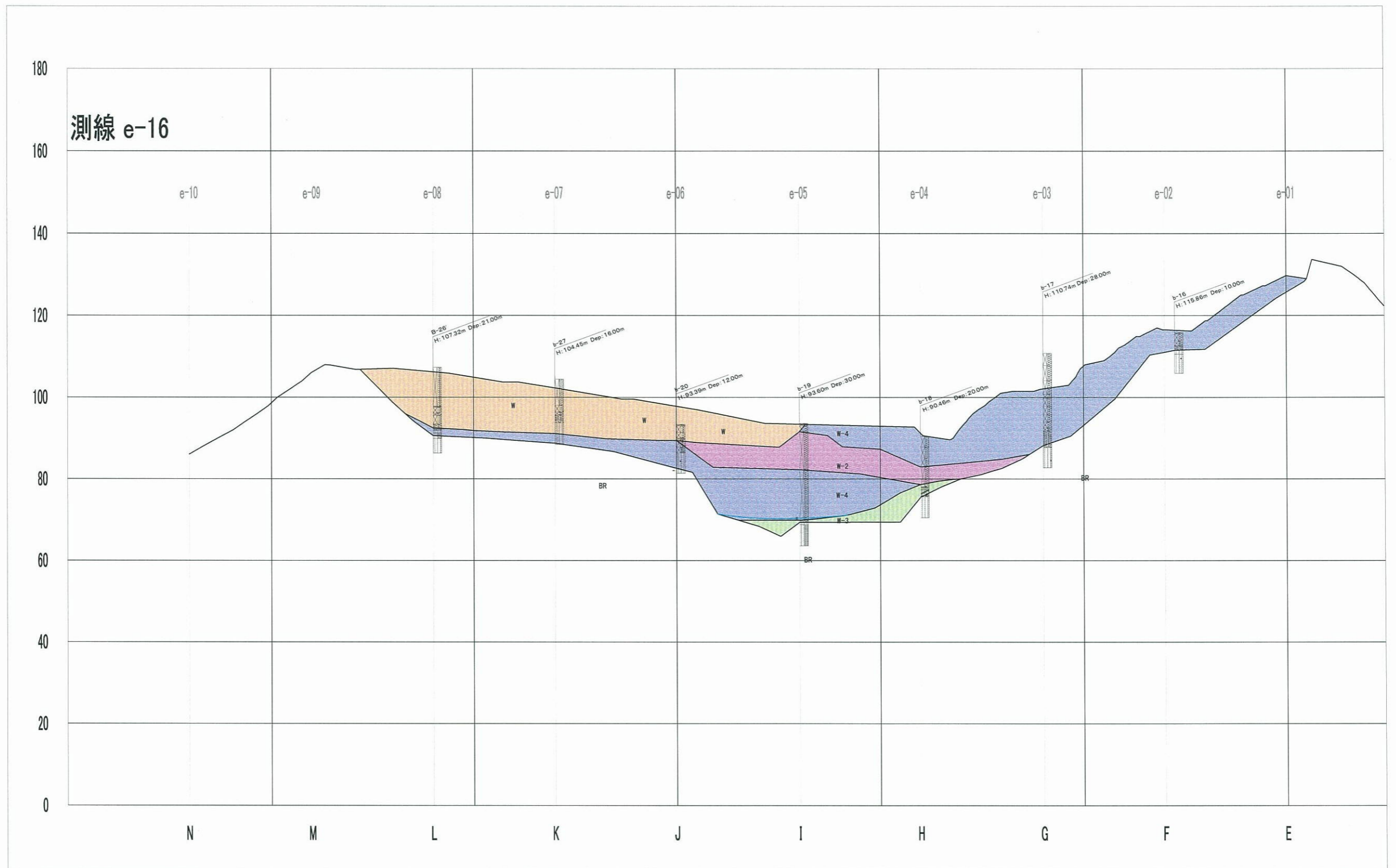
図2.16 総合解析断面図 (e-14) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
	基礎岩層	BR
— 推定地下水位線		

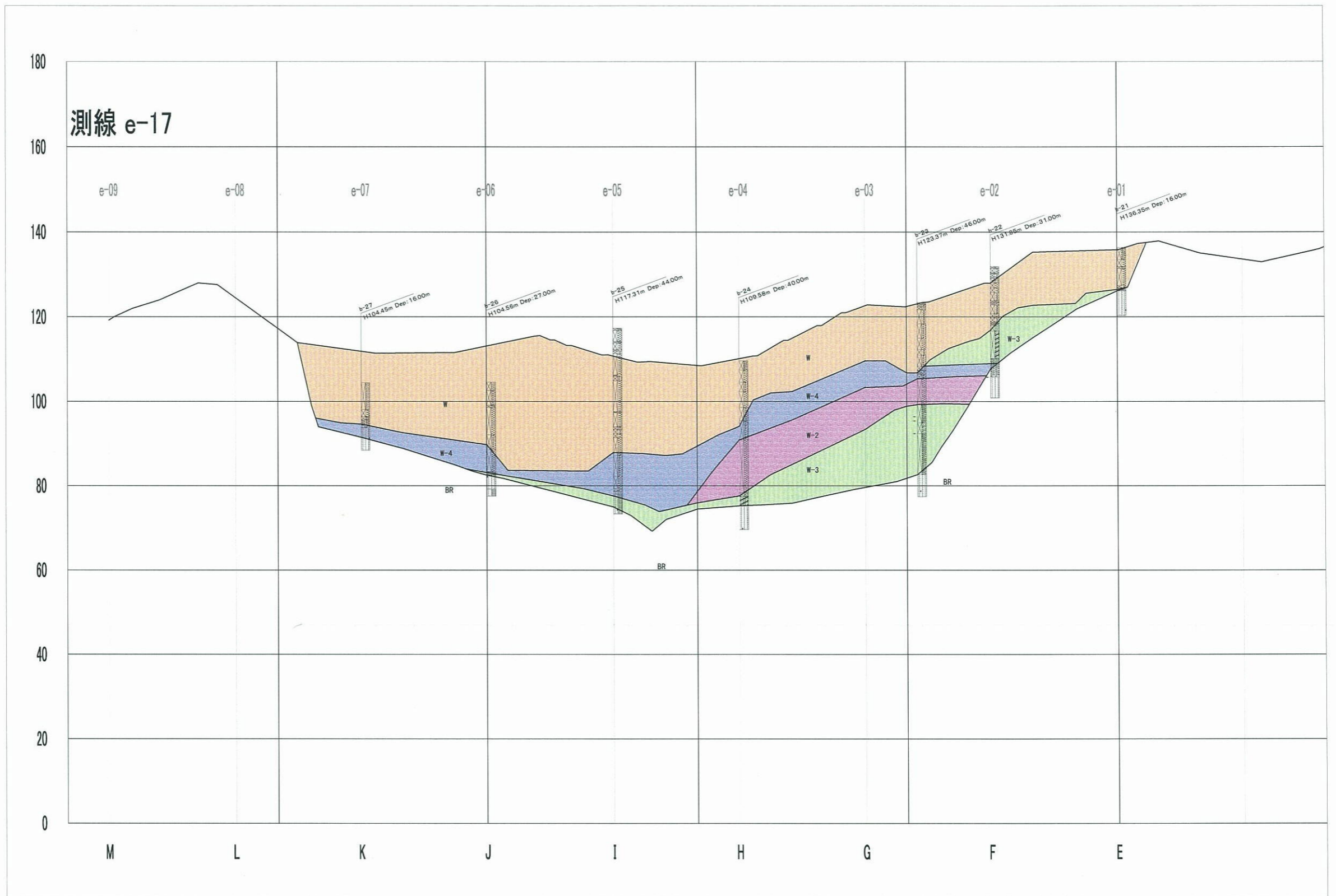
図2.17 総合解析断面図 (e-15) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
廃棄物層 コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基礎岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

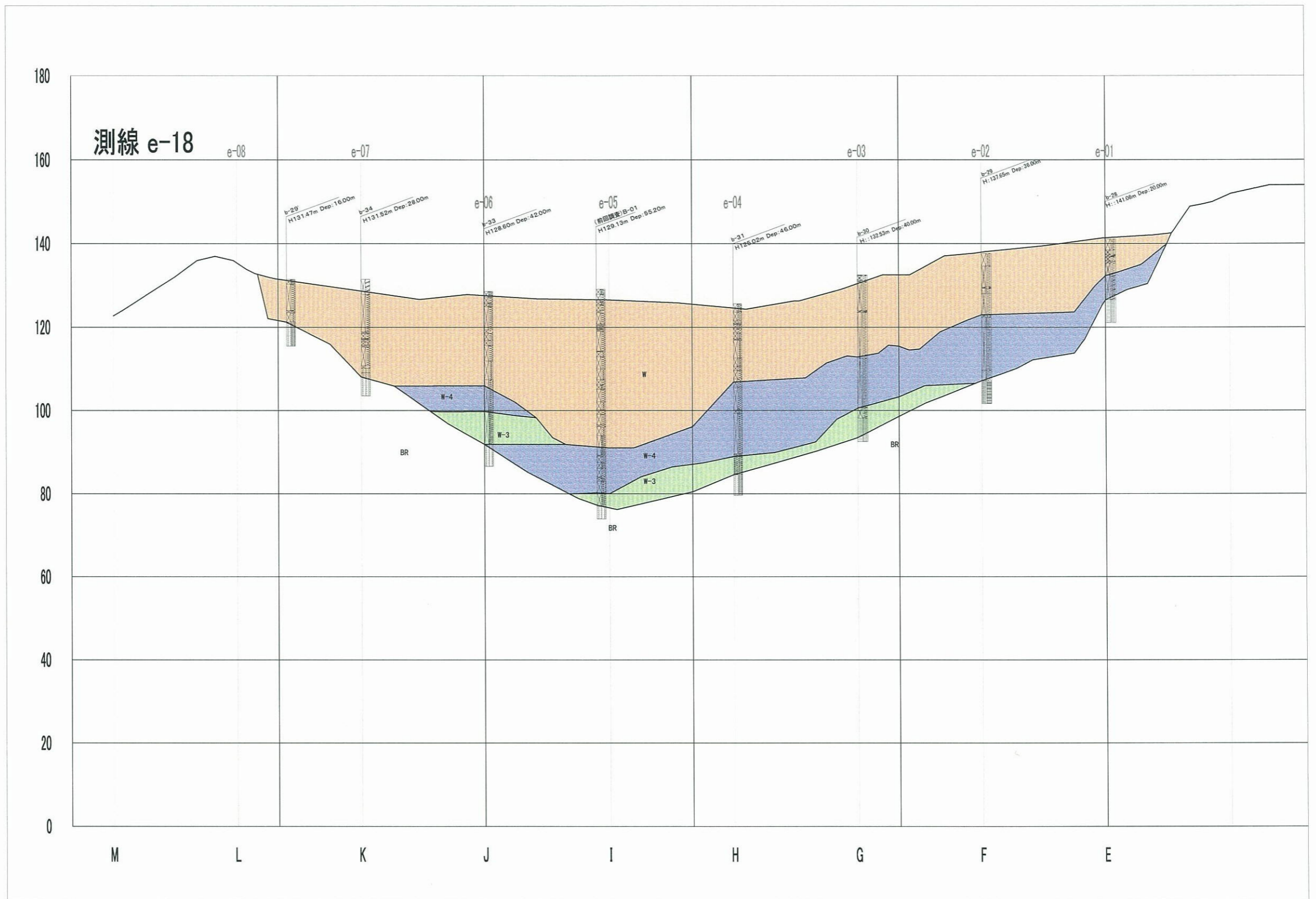
図2.18 総合解析断面図 (e-16) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

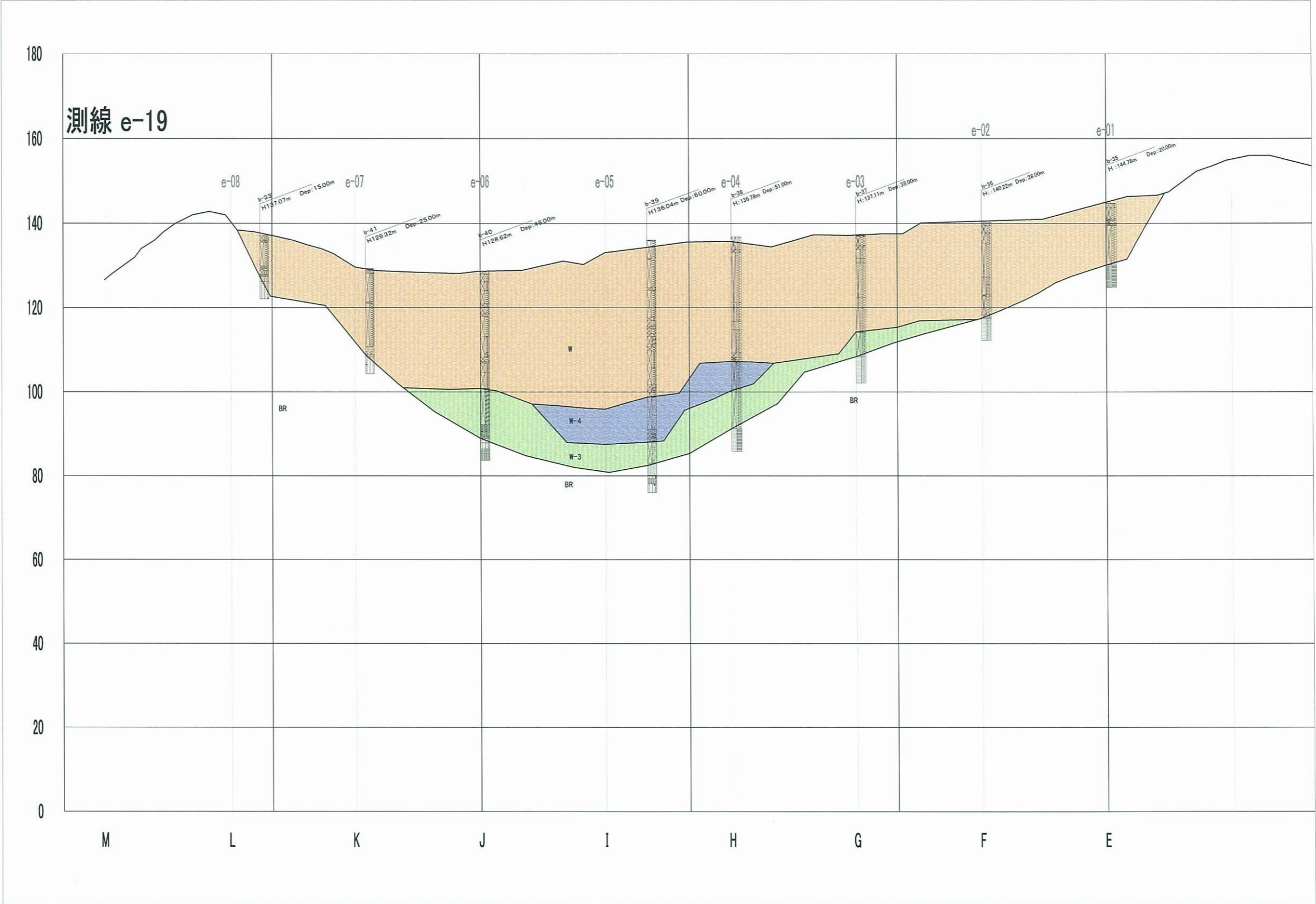
図2.19 総合解析断面図 (e-17) S:1/1000



断面図凡例

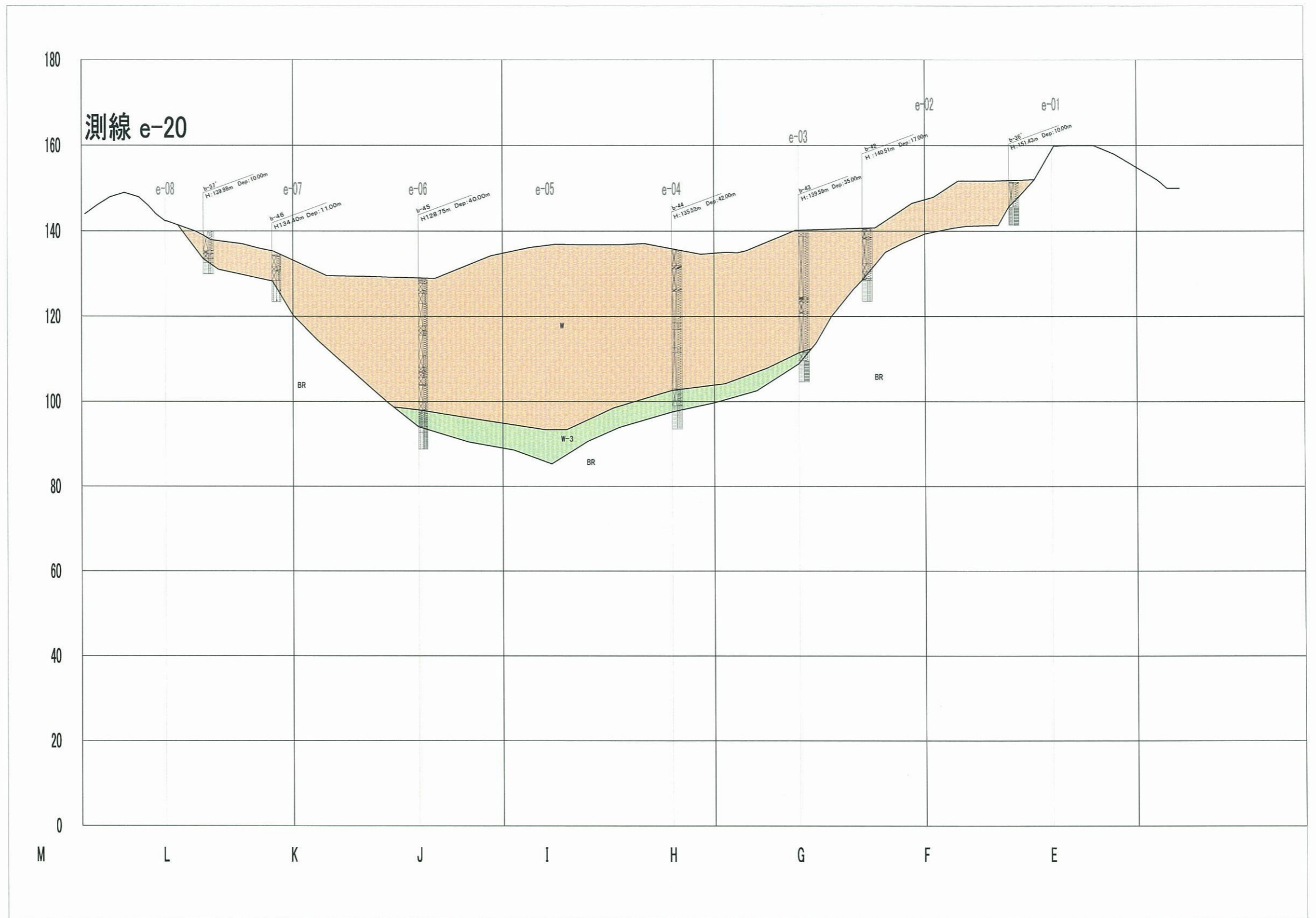
層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

図2.20 総合解析断面図 (e-18) S:1/1000



断面図凡例			
層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)	
混合物層	W	69.5	
木屑主体層	W-1	1.2	
廃棄物層	コンクリートガラ主体層	3.8	
	土砂主体層	15.9	
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4	
基盤岩層	BR	計 124.8	
推定地下水位線			

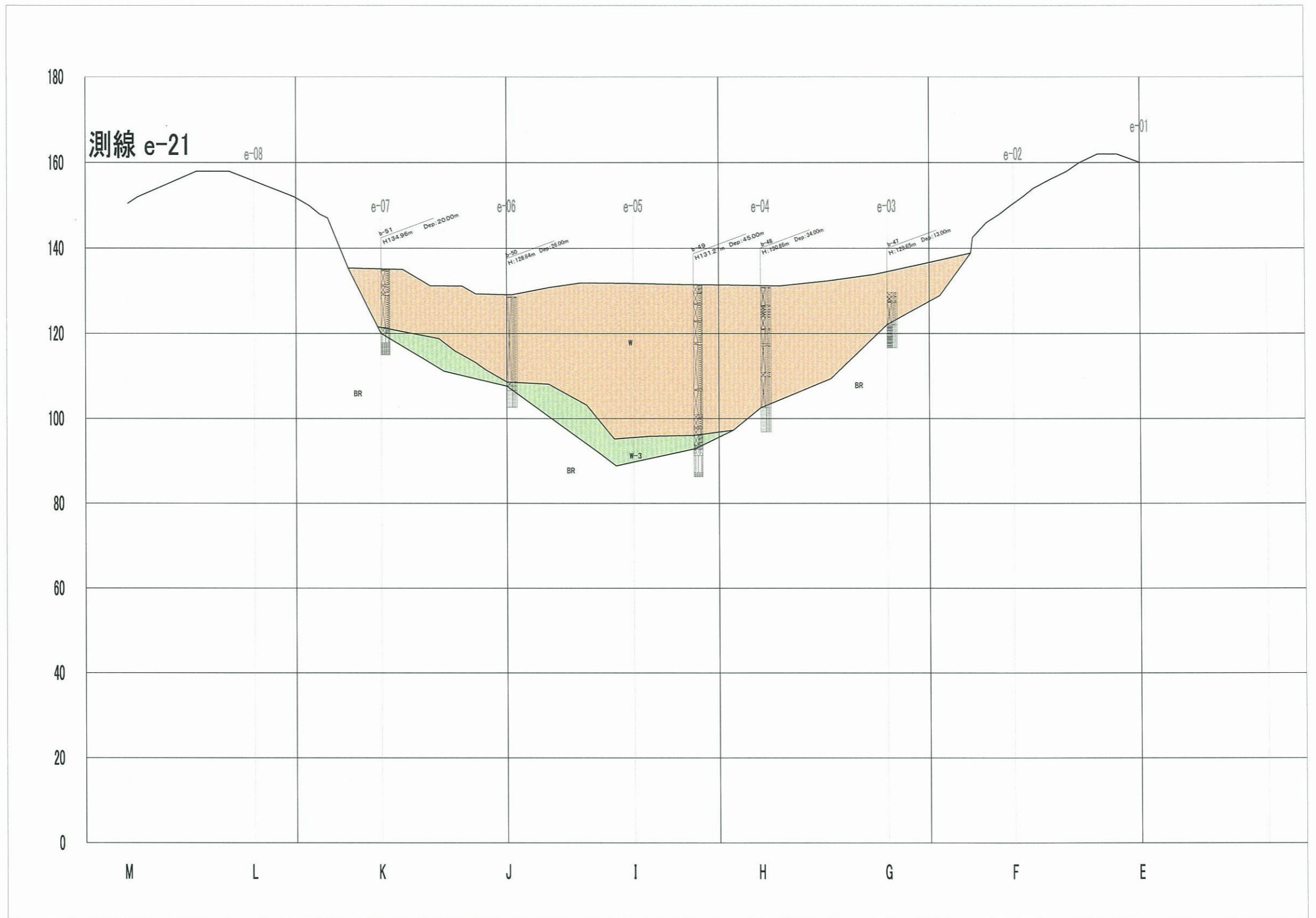
図2.21 総合解析断面図 (e-19) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
推定地下水位線		

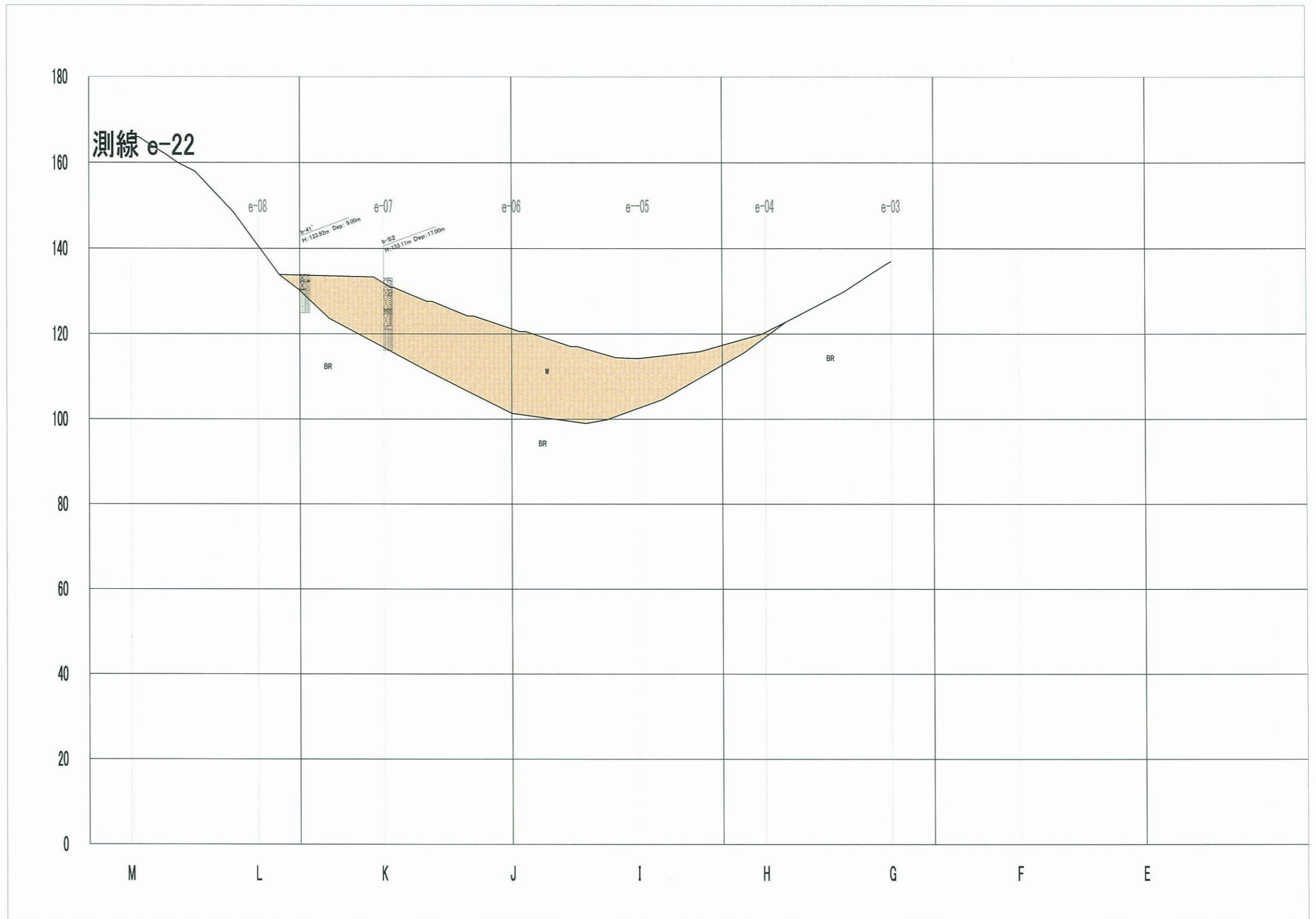
図2.22 総合解析断面図 (e-20) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
木屑主体層	W-1	1.2
コンクリートガラ主体層	W-2	3.8
土砂主体層	W-3	15.9
土砂コンクリートガラ主体層	W-4	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

図2.23 総合解析断面図 (e-21) S:1/1000



断面図凡例

層区分	地質記号	ボリューム(×10 ⁴ m ³)
混合物層	W	69.5
廃棄物層	木屑主体層	1.2
	コンクリートガラ主体層	3.8
	土砂主体層	15.9
	土砂コンクリートガラ主体層	34.4
基盤岩層	BR	計 124.8
— 推定地下水位線		

図2.24 総合解析断面図 (e-22) S:1/1000

2.2. 地下水状況

(1) 地下水状況

今回調査の結果より作成した岩盤線等高線とボーリングの孔水位より想定した地下水位の等高線を図 2.26 に示す。

① 低地部

低地部分の地下水位は基盤岩上の土砂層や廃棄物層にあり、焼却炉西側の旧沢筋付近を扇頂とした分布をなしている。

② 中段部および最上部

地下水が存在しない井戸が多数あり、各ボーリング孔間における水頭の明瞭な連続性は確認できなかった。観測できた地下水は、基盤岩の付近にあることから、中段部および上段部では岩盤線付近の劣化部に沿って地下水が分布・流動していると考えられる。

③ 廃棄物層内の水位

廃棄物層内の水位は確認できなかった。ただし、法面からの浸出水は常時確認されており、廃棄物は湿潤状態にあると推察される。

場内の低地部の地下水位は、前記したとおり土砂層や廃棄物層にある。この地下水位は、プラント裏湧水の水路より低い位置にあたる。一方、基盤岩および中間層の透水性は、表 2.4 に示すとおりであり、そのため場内上流部の沢水の一部は、前記水路以外の経路で場外に流出する可能性がある。

表 2.4 透水性（ピンク部は破碎帯）

地点名	対象地質	岩盤状況		試験深度・区間長		ルジオン値 $L_u \cdot L_{u'}$ ($\frac{\%}{\text{min-m}}$)	透水性係数 k (cm/s)	平衡水位 (GL-m)
		岩級区分 (RQD(%))	状態	(GL-m)	(m)			
b-01	真岩	D-CL (0-10)	粘土状	11.00~13.00	1.00	60.31	6.03×10^{-4}	5.90
		CL (0)	軟岩-中硬岩	14.00~15.00	2.00	15.34	1.53×10^{-4}	5.90
b-05'	砂岩	CL (0)			17.00~18.00	1.00	9.36	9.36×10^{-5}
b-07	砂岩真岩互層	CL-CM (20)	軟岩-中硬岩	20.30~22.30	2.00	1.73	1.73×10^{-5}	8.20
b-09		CM (40-50)	中硬岩	12.10~13.60	1.50	13.55	1.35×10^{-4}	0.55
b-11		CL-D (0)	礫状-中硬岩	15.00~17.00	2.00	15.16	1.52×10^{-4}	8.50
Bw-01	シルト混じり砂礫	—	礫状	9.50~10.35	0.85	—	6.92×10^{-3}	10.30
Bw-02	シルト質砂礫	—	礫状	6.90~7.90	1.00	—	3.03×10^{-4}	5.86
Bw-03	砂岩	D (0)	粘土-礫状	2.00~3.00	1.00	132.55	1.35×10^{-4}	0.55

今回の長結果より場内に地下水位が確認されたため、今後これら地下水について場内および場外における継続観測の必要があると考えられる。

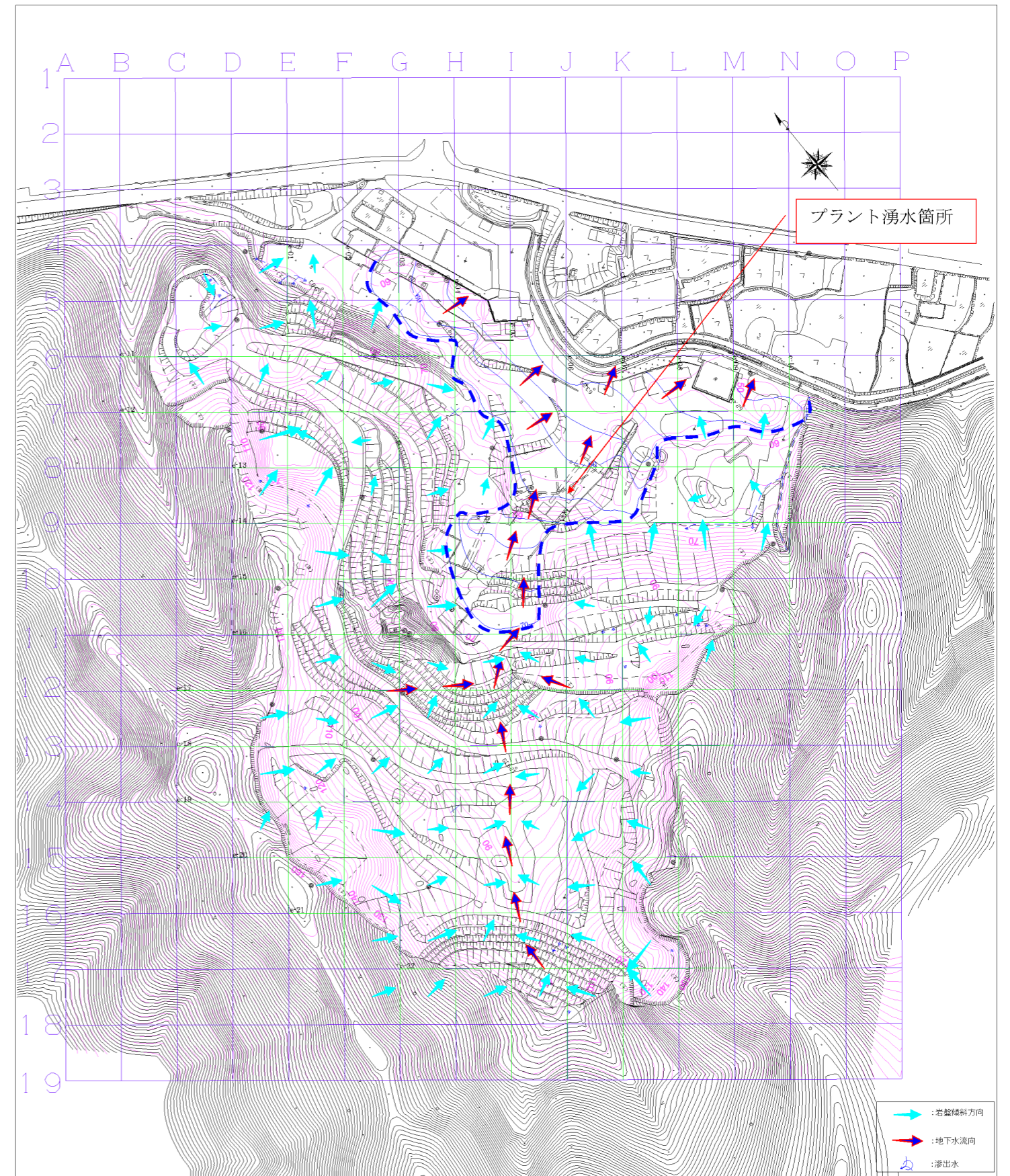


図 2.26 地下水位コンター図